

# 「地域や社会を変革するICT人材の育成 ～シビックテック活動を事例に～」

## 新たなNPO人材像を「福島健一郎」氏と学ぶ

一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事 / アイパブリッシング株式会社 代表取締役



2016 10/26(水) 18:00 – 20:00

会場: JAIST(北陸先端科学技術大学院大学)  
金沢駅前オフィス ポルテ金沢(12階)

定 員 : 20名  
参加費: 無 料

インターネットやスマートフォン等のデジタル環境の進歩とオープンデータの推進により、新しい技術を活かして市民と行政が手を携えながら地域の課題を解決しようという考えが世界に拡がっています。

日本で最初にシビックテックと言われるこの活動を始めたCode for Kanazawaの事例を中心に、新しいNPO人材像の紹介をしたいと思います。



■講師プロフィール: 1971年生まれ。

2009年4月に金沢でアイパブリッシングをパートナーと創業。モバイルやオープンデータを軸にしたアプリやサービス開発を続けている。

また、地域の課題をITの力で解決するために、2013年5月にCode for Kanazawaを9人で設立。日本で初めてのCode for コミュニティとなつた。2014年に一般社団法人化。

Code for Kanazawaが開発した5374 (ゴミナシ).jpは全国のコミュニティの手で2016年9月末現在で90都市以上に広がり、国産初のシビックテックアプリと言われている。

現在は、シビックテックを国内に広げるための活動にも力を入れているほか、シビックテックを実現するための基盤となるオープンデータやオープンガバメントの推進についても精力的に活動を行っている。

